

ニーズ調査概要

ニーズ調査結果

事業所・団体アンケート

アンケート調査結果

鏡野町 子ども・子育て支援事業計画のための ニーズ調査・生活に関するアンケート調査報告概要

子ども・子育て支援に関するニーズ調査について

1 調査の目的

本調査は、令和7年度（2025年度）を始期とする「第3期鏡野町子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、教育・保育施設のニーズや、子育てに関する支援サービスのニーズなどを把握するために実施しました。

2 調査対象と調査方法

調査対象	調査方法
就学前児童の保護者	・鏡野町に在住する就学前児童の保護者 ・郵送配布、郵送回収またはWeb回答
小学生児童の保護者	・鏡野町に在住する小学生児童の保護者 ・郵送配布、郵送回収またはWeb回答

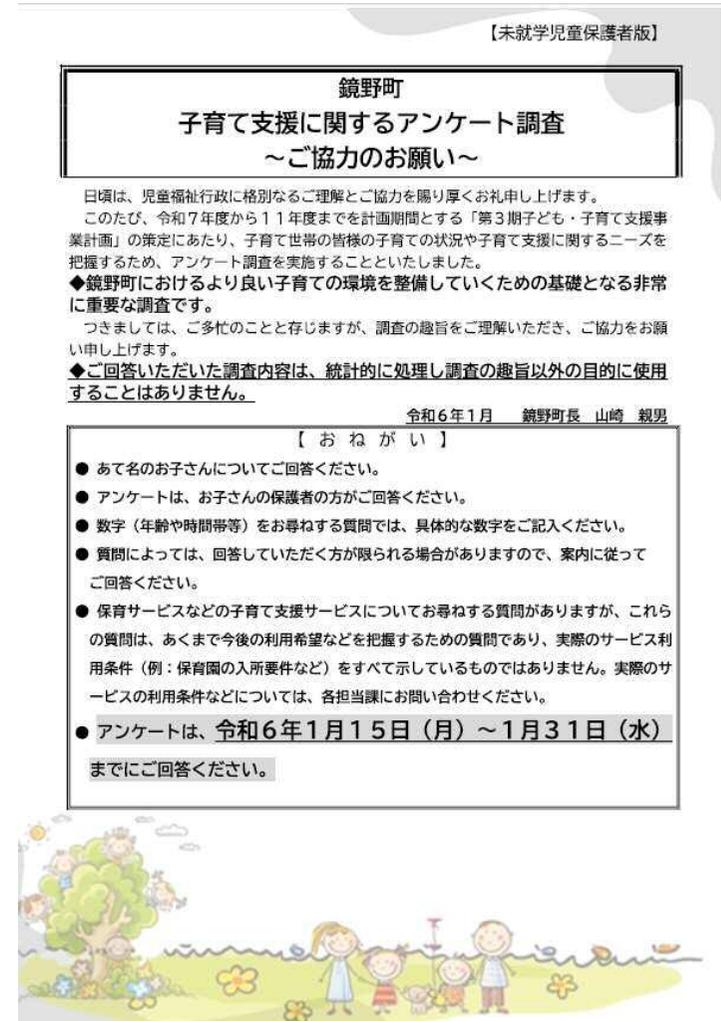
3 調査期間

令和6年1月15日～令和6年1月31日

4 回収結果

調査対象	配布数	有効回収数	有効回答率
就学前児童の保護者	423 ※必要サンプルサイズ166	167件 (うちWeb回答：41件)	39.4%
小学生児童の保護者	454 ※必要サンプルサイズ170	184件 (うちWeb回答：70件)	40.5%

※必要サンプルサイズ：調査精度を確保するうえで必要な標本数



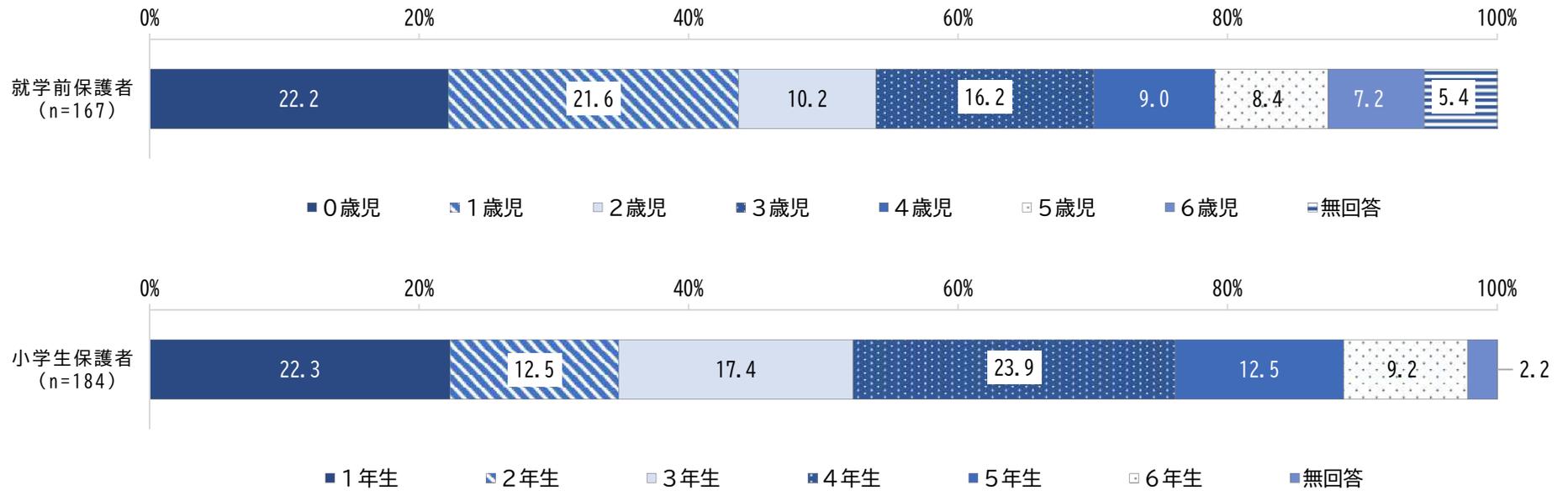
アンケート設問構成

質問内容		量の 見込
家族 の状況	お住まいの地区（地域）	◎
	あて名のお子さんの生年月日・お子さんの人数	◎
	世帯構成	
	お子さんとの続柄	◎
	回答者の配偶者の有無	◎
	子育てを主に行っている家族	◎
育ちを めぐる 環境	親族や友人にお子さんを見てもらっている状況	
	子育てについて気軽に相談できる人の有無と相手	
	お子さんの平均睡眠時間・朝食・歯みがき等の習慣	
	絵本の読み聞かせ・インターネット利用時間	
	虐待について	
保護者の 就労状況	母親・父親の就労状況	◎
	フルタイム勤務への転換希望	◎
	母親・父親の復職希望	◎
平日の定期 的な教育・ 保育事業の 利用状況	定期的な教育・保育事業利用の有無/利用している事業	◎
	⇒利用頻度・時間・場所/希望する利用頻度・時間帯	◎
	定期的にご利用したいと考える事業・場所	◎
	幼稚園の利用希望について	◎
地域子育て 拠点事業の 利用状況 (平日)	地域子育て拠点事業の利用状況	◎
	地域子育て拠点事業の利用意向	◎
土曜・休 日・長期休 暇の事業利 用希望	土曜・休日・長期休暇の定期的な利用希望	◎
	幼稚園の長期休暇中の利用希望	◎

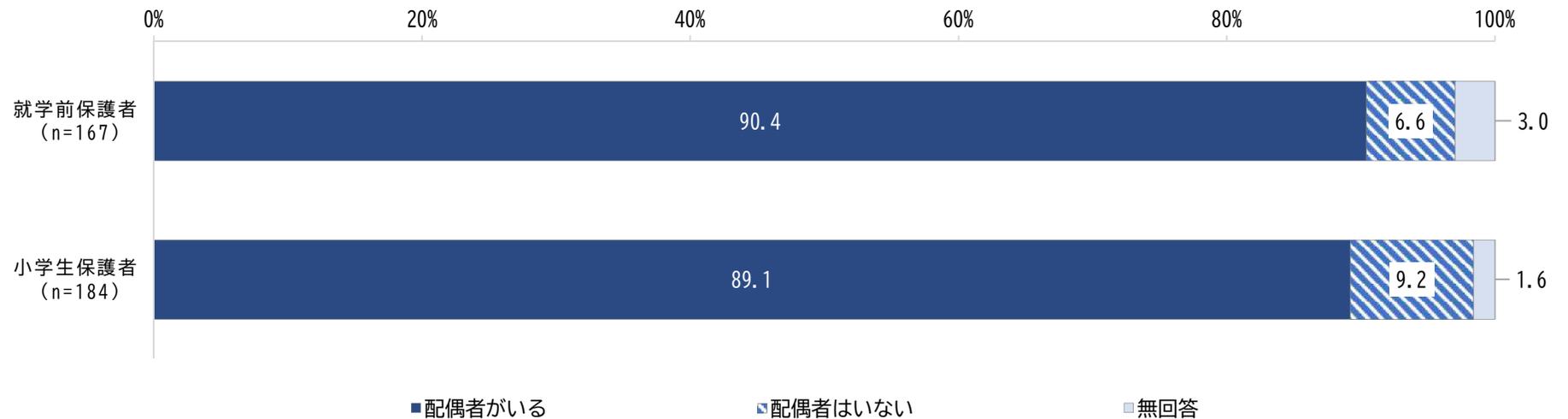
質問内容		量の 見込
病気の際 の対応	病気やケガで事業利用ができなかったことがあるか	◎
	⇒対処方法	◎
	病児・病後児保育事業の利用希望	
不定期の 宿泊 ショートス テイ等の 利用に ついて	⇒利用したいと思わない理由	
	1年間で私用、通院、就労等で不定期に利用する事業	◎
	⇒利用していない理由	
	私用、通院、就労等で不定期に利用する事業が必要か	
	⇒どのような形態が望ましいか	◎
小学校 就学後の 放課後の 過ごし方	保護者の事情や育児疲れ不安などでショートステイを利用する必要があるか	◎
	⇒目的別利用日数	◎
	低学年の放課後の過ごし方について	◎
職場の 両立支援 制度に ついて	高学年の放課後の過ごし方について	◎
	⇒放課後児童クラブの利用希望	◎
	⇒長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	◎
	保護者の就労に関係なく、放課後等にすべての子どもが参加できる子どもの居場所があれば利用したいか	◎
	⇒希望としてどのくらいまで育児休業したいか	
子育てに関 する悩みや 不安	母親・父親の育児休業取得について	
	育児休業取得後の職場復帰について	
	⇒復帰のタイミング	
	⇒希望としてどのくらいまで育児休業したいか	
子育てに関 する悩みや 不安	短時間勤務制度の利用について	
	仕事と家庭を両立させる上で何が必要か	
	子育てに関する悩みや不安など	
子育てに関 する悩みや 不安	1か月に平均何回病院を利用するか	
	子育てに関する経済的な不安	

1) お子さんについて

1. お子さんの年齢・学年

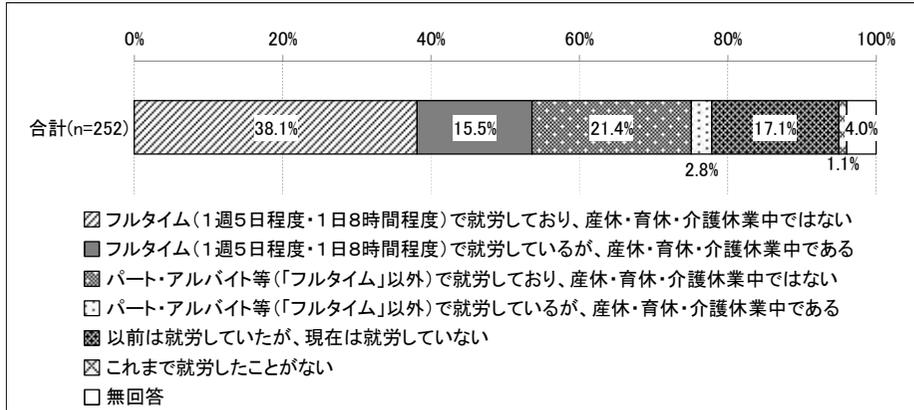


2. 保護者の配偶者の皆無



2) 就学前保護者の就労状況について (母親)

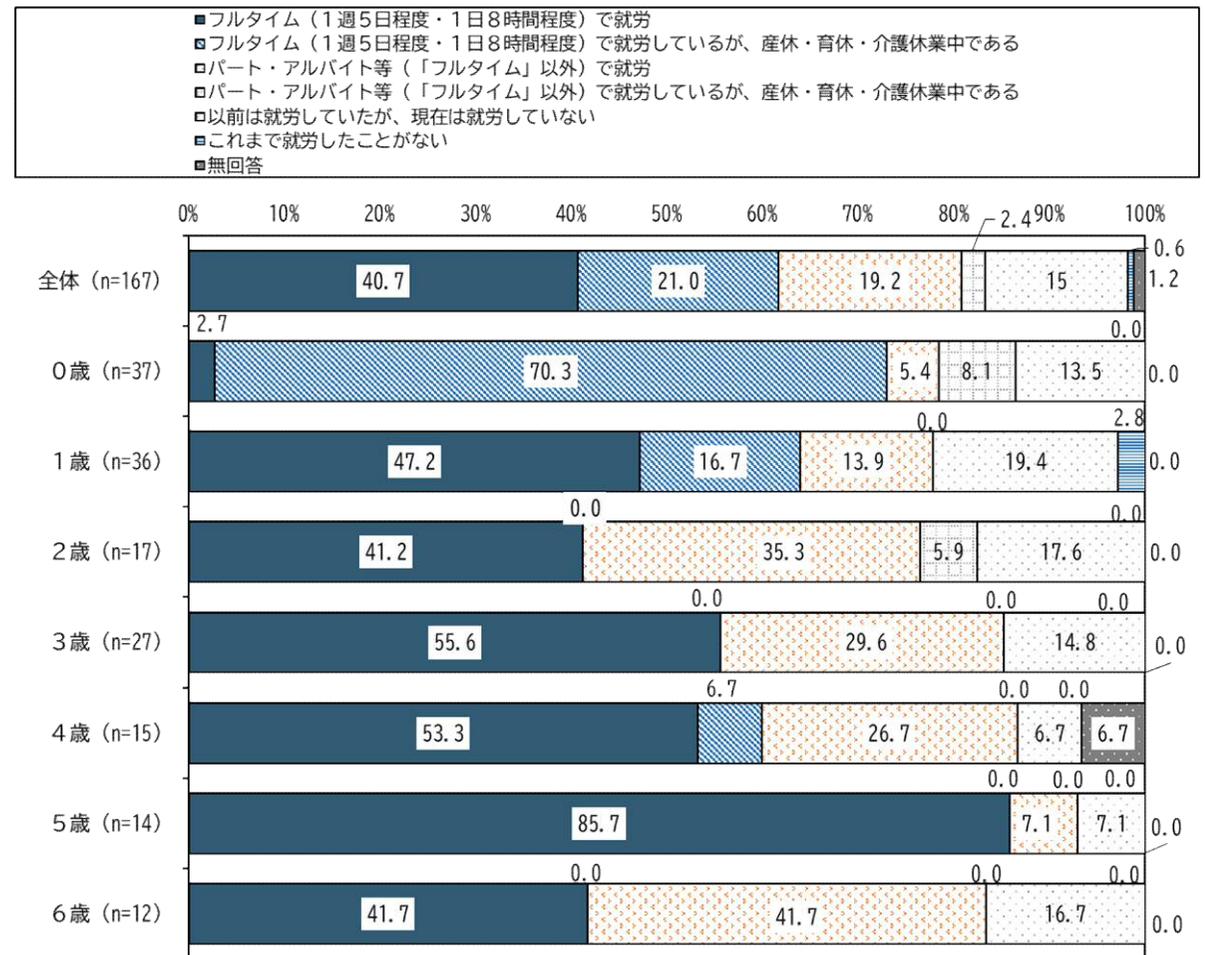
前回調査結果 (平成31年2月)



■就学前

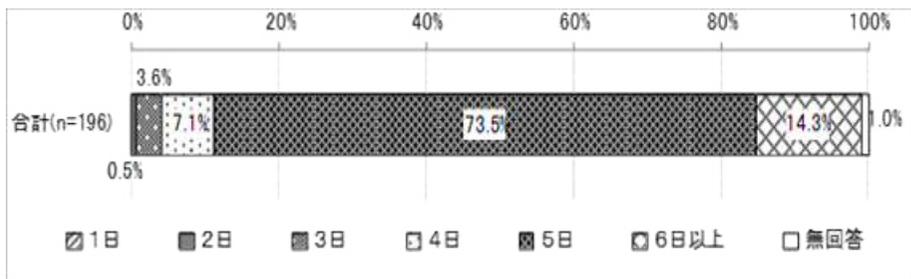
就学前の母親の就労状況は、「フルタイムで就労」が40.7%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が21.0%、「パート・アルバイト等で就労」が19.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が15.0%、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が2.4%となっています。

就学前：母親



3) 就学前保護者の就労日数について (母親)

前回調査結果 (平成31年2月)

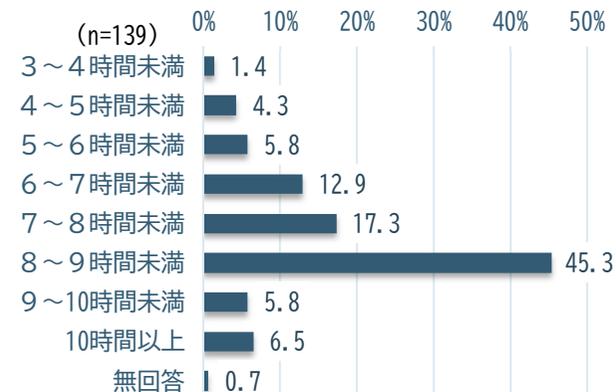


■就学前

「5日」が74.8%で最も多く、次いで「4日」が12.9%、「6日」が9.4%、「3日」が1.4%、「7日」が0.7%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8～9時間未満」が45.3%で最も多く、次いで「7～8時間未満」が17.3%、「6～7時間未満」が12.9%、「10時間以上」が6.5%、「5～6時間未満」と「9～10時間未満」が5.8%となっています。

就学前：母親就労日数と1日あたりの就労時間

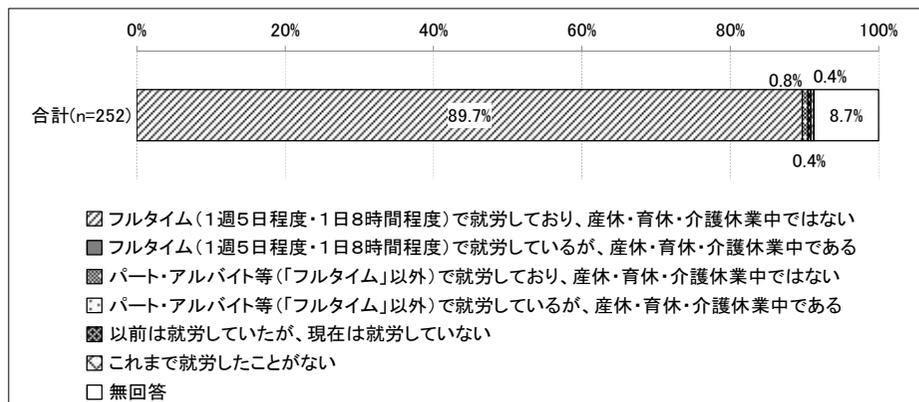


○年齢別

	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全体 (n=139)	1.4	12.9	74.8	9.4	0.7	0.7
0歳 (n=32)	0.0	6.3	78.1	15.6	0.0	0.0
1歳 (n=28)	3.6	0.0	78.6	10.7	3.6	3.6
2歳 (n=14)	7.1	28.6	64.3	0.0	0.0	0.0
3歳 (n=23)	0.0	26.1	65.2	8.7	0.0	0.0
4歳 (n=13)	0.0	23.1	76.9	0.0	0.0	0.0
5歳 (n=13)	0.0	0.0	84.6	15.4	0.0	0.0
6歳 (n=10)	0.0	30.0	70.0	0.0	0.0	0.0

2) 就学前保護者の就労状況について (父親)

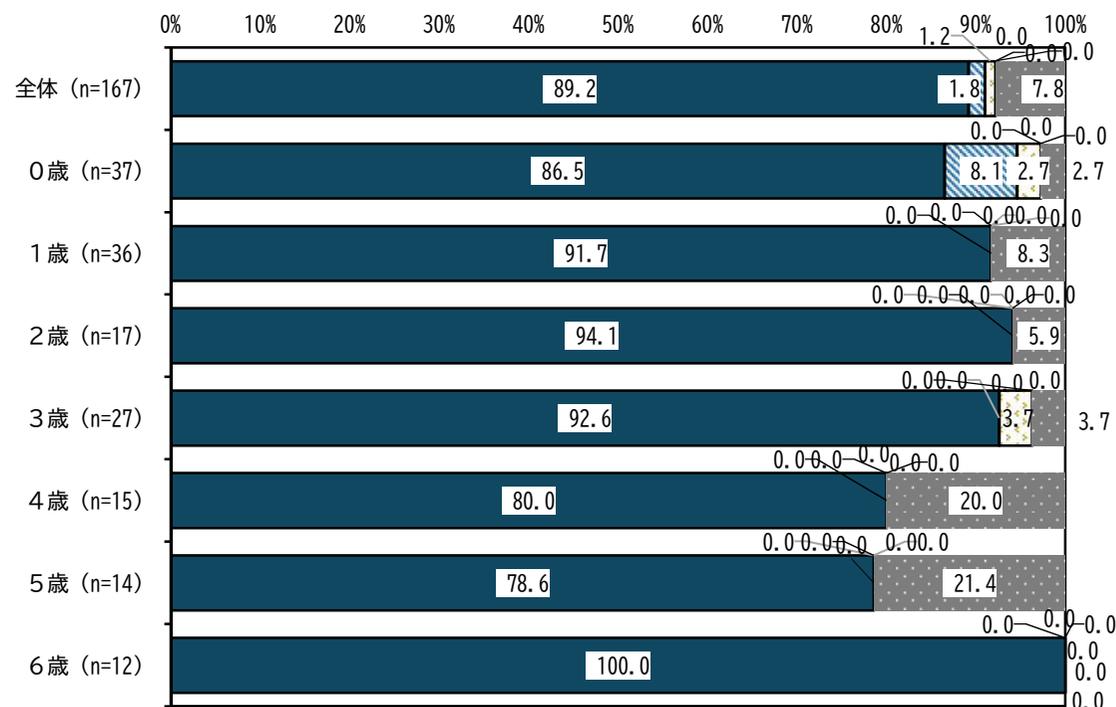
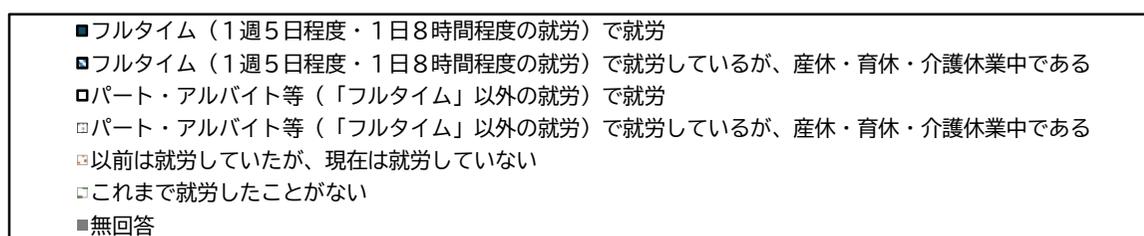
前回調査結果 (平成31年2月)



■就学前

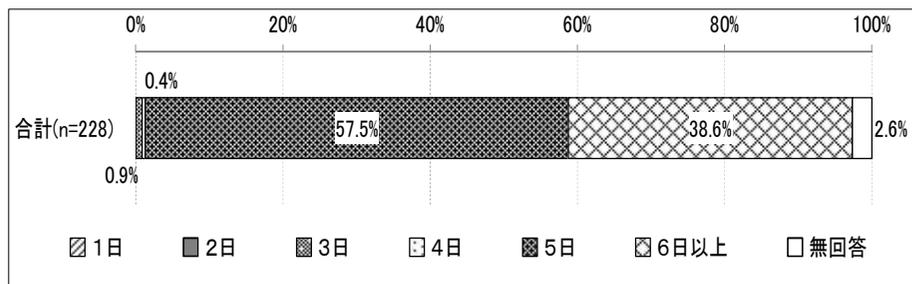
就学前の父親の就労状況は、「フルタイムで就労」が89.2%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が1.8%、「パート・アルバイト等で就労」が1.2%となっています。

就学前：父親



3) 就学前保護者の就労日数について (父親)

前回調査結果 (平成31年2月)

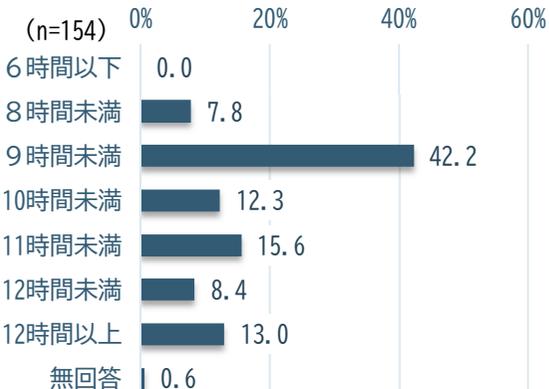
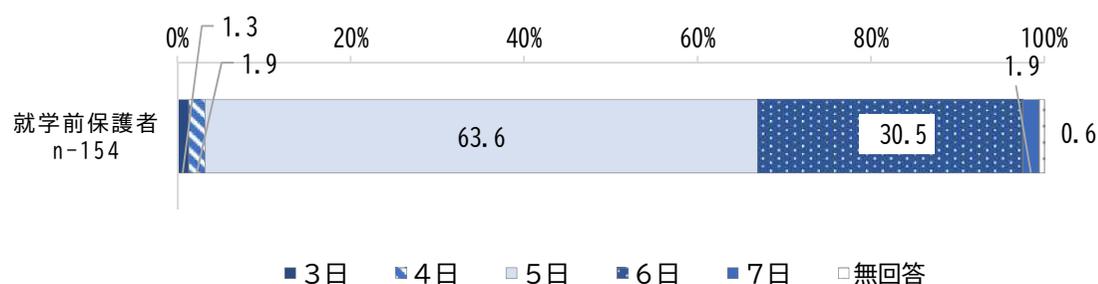


■就学前

「5日」が63.6%で最も多く、次いで「6日」が30.5%、「4日」と「7日」が1.9%、「3日」が1.3%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8～9時間未満」が42.2%で最も多く、次いで「10～11時間未満」が15.6%、「12時間以上」が13.0%、「9～10時間未満」が12.3%、「11～12時間未満」が8.4%となっています。

就学前：父親就労日数と1日あたりの就労時間

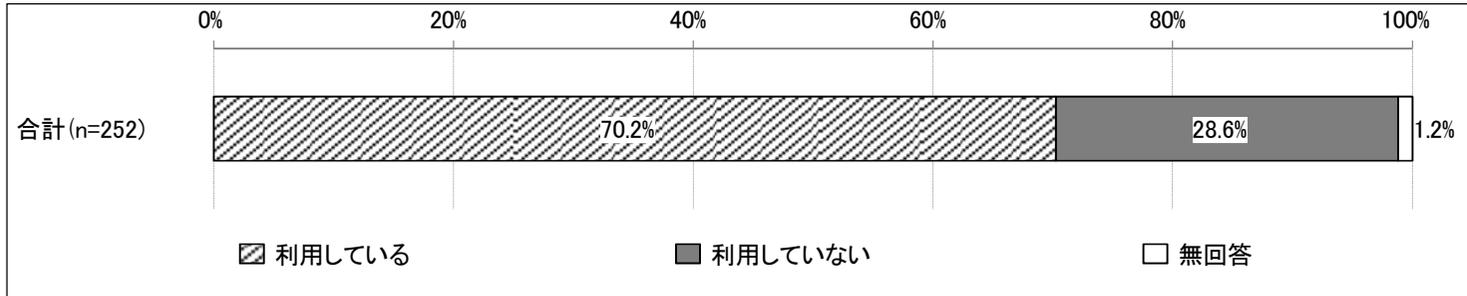


○年齢別

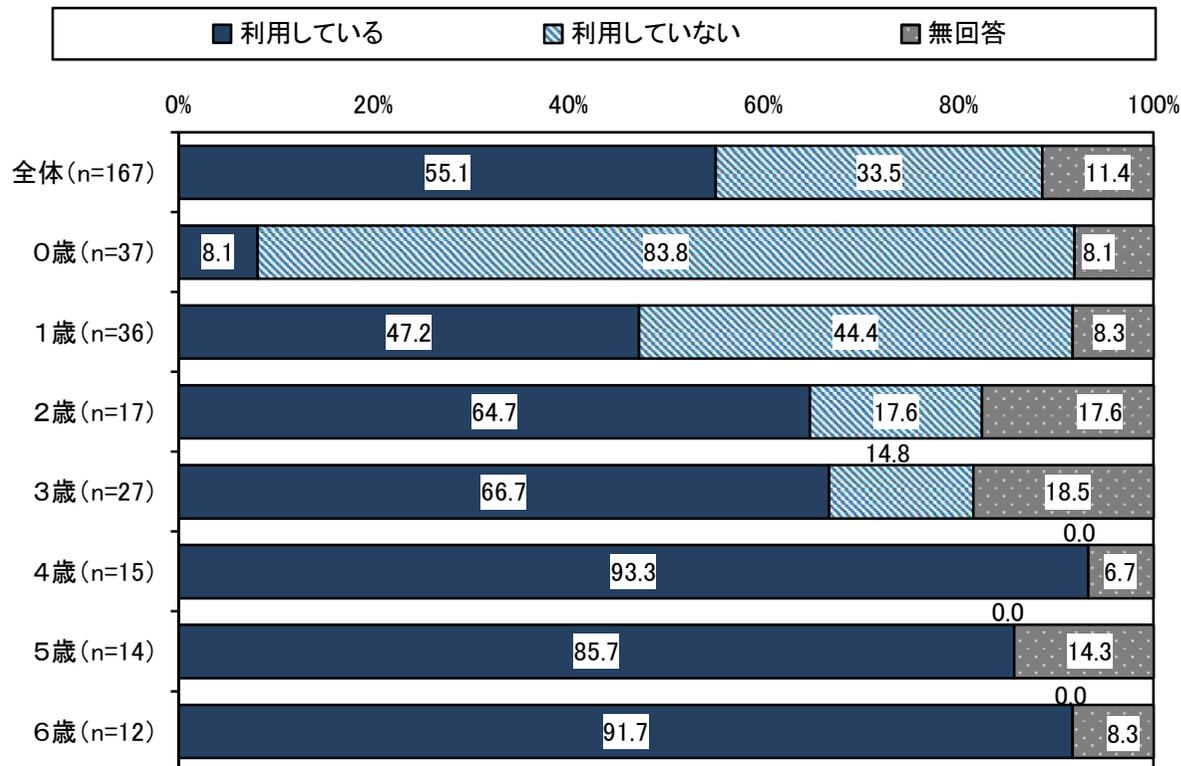
	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全体 (n=154)	1.4	12.9	74.8	9.4	0.7	0.7
0歳 (n=36)	2.8	0.0	63.9	30.6	2.8	0.0
1歳 (n=33)	3.0	3.0	60.6	27.3	3.0	3.0
2歳 (n=16)	0.0	0.0	68.8	31.3	0.0	0.0
3歳 (n=26)	0.0	3.8	61.5	34.6	0.0	0.0
4歳 (n=12)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
5歳 (n=11)	0.0	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0
6歳 (n=12)	0.0	0.0	58.3	41.7	0.0	0.0

4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

前回調査結果 (平成31年2月)



就学前



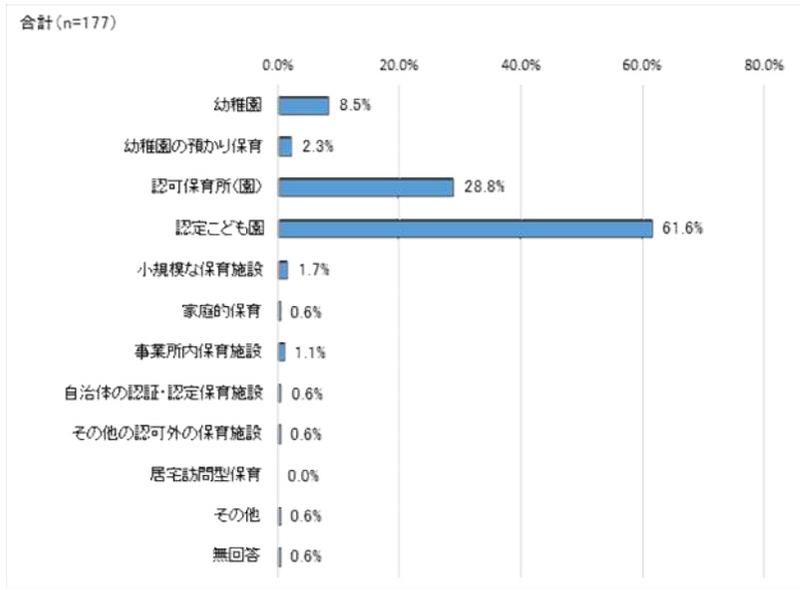
■就学前

定期的に幼稚園や保育園などを「利用している」が55.1%、「利用していない」が33.5%となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「利用している」が多くなり、「4歳」以上では8割以上が「利用している」と回答しています。

5) 平日どのような「定期的な教育・保育事業」を利用しているか

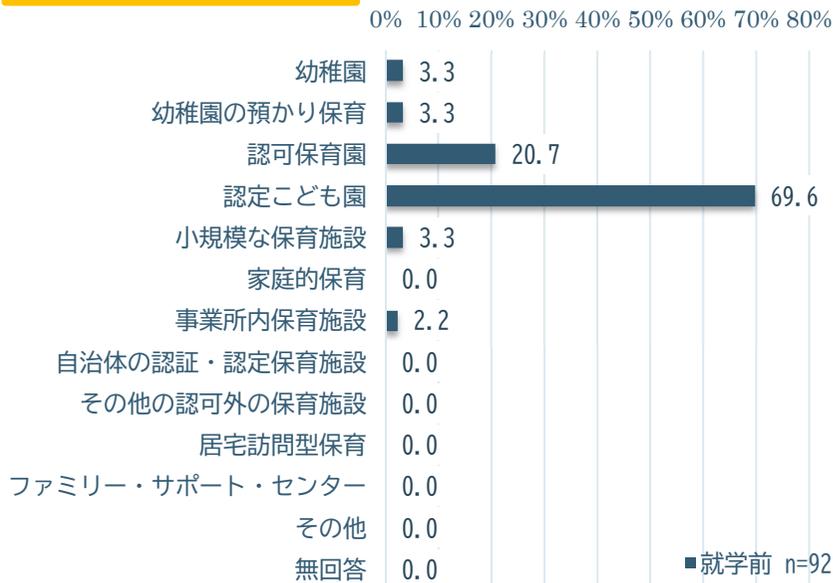
前回調査結果 (平成31年2月)



〇年齢別

	幼稚園 (通常の 就園時間 の利用)	幼稚園の 預かり保 育	認可保育 所	認定こど も園	小規模な 保育施設	家庭的保 育	事業所内 保育施設	自治体の 認証・認 定保育施 設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート事 業	その他	無回答
全体 (n=92)	3.3	3.3	20.7	69.6	3.3	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0歳 (n=3)	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳 (n=17)	0.0	0.0	29.4	52.9	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2歳 (n=11)	9.1	0.0	27.3	54.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3歳 (n=18)	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4歳 (n=14)	7.1	0.0	28.6	57.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5歳 (n=12)	0.0	8.3	16.7	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6歳 (n=11)	0.0	9.1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

就学前調査結果



■就学前
「認定こども園」が69.6%で最も多く、次いで「認可保育園」が20.7%、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「小規模な保育施設」が3.3%となっています。

定期的・不定期の保育サービスの利用希望について

問 0歳児における子育てに対する考えは以下のどれにあたりますか。現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。対象のお子さんが1歳児以上のときは、0歳児だったときのことを振り返り、お答えください。

	合計	育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい	一時預かりなど、不定期な保育サービスを利用できれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい	すぐにも、又は1年以内に働きたいので、保育サービスを利用したい	無回答
全体	167	52.1	19.2	24.6	4.2
0歳児	37	56.8	10.8	32.4	-
1歳児	36	25.0	36.1	33.3	5.6
2歳児	17	64.7	11.8	23.5	-
3歳児	27	59.3	11.1	18.5	11.1
4歳児	15	60.0	20.0	13.3	6.7
5歳児	14	64.3	14.3	21.4	-
6歳児	12	75.0	8.3	16.7	-



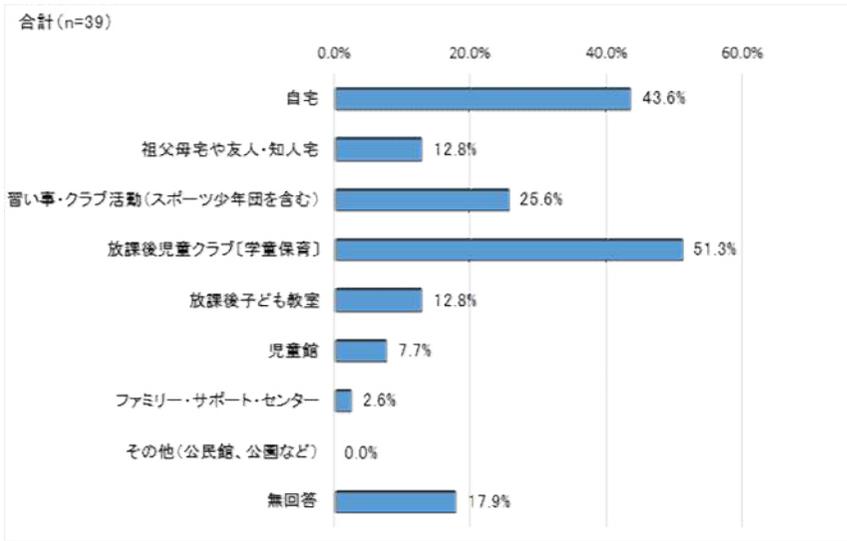
■就学前
 全体的にみると1年以上は在宅で子育てをしたいという回答が多いですが、1歳児では「一時預かりなどの不定期な保育サービスを利用」と「1年以内に就労希望があり保育サービスを利用」したいという回答が多くなっています。

問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の幼稚園や保育園利用などのうち、「定期的に」利用したいもの

	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	167	14.4	12.6	40.1	73.7	14.4	9.0	1.2	9.6	-	3.6
0歳児	37	8.1	5.4	48.6	78.4	16.2	8.1	2.7	13.5	-	5.4
1歳児	36	25.0	22.2	44.4	83.3	13.9	11.1	-	13.9	-	-
2歳児	17	11.8	11.8	47.1	52.9	23.5	11.8	5.9	5.9	-	5.9
3歳児	27	11.1	3.7	29.6	74.1	-	11.1	-	3.7	-	3.7
4歳児	15	26.7	20.0	40.0	53.3	40.0	6.7	-	6.7	-	-
5歳児	14	-	7.1	42.9	71.4	-	14.3	-	-	-	7.1
6歳児	12	8.3	25.0	16.7	100.0	8.3	-	-	16.7	-	-

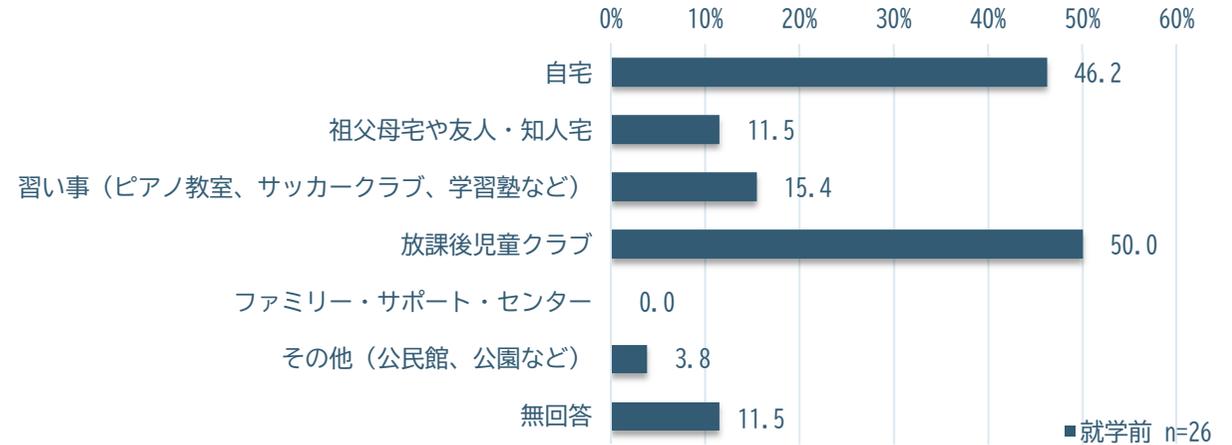
6) 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいか

前回調査結果（平成31年2月）：低学年（1～3年生）

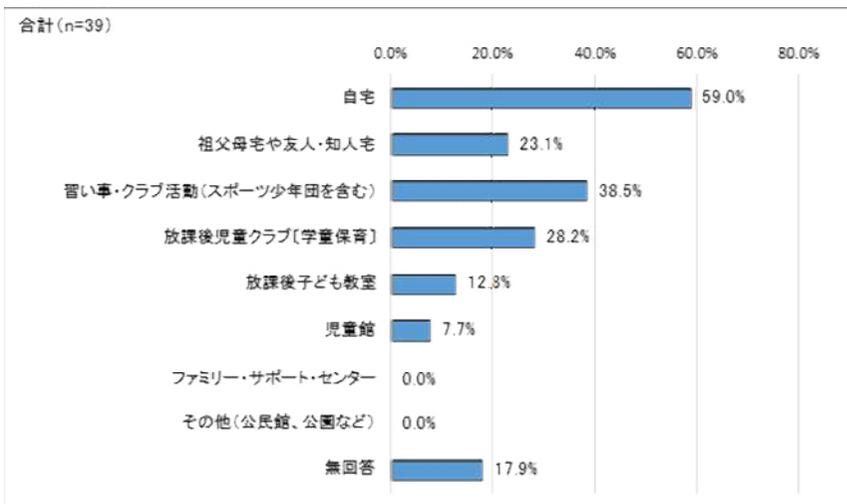


就学前のお子さんをもつ保護者を対象：小学生低学年になったとき

「放課後児童クラブ」が50.0%で最も多く、次いで「自宅」が46.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が15.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が11.5%となっています。

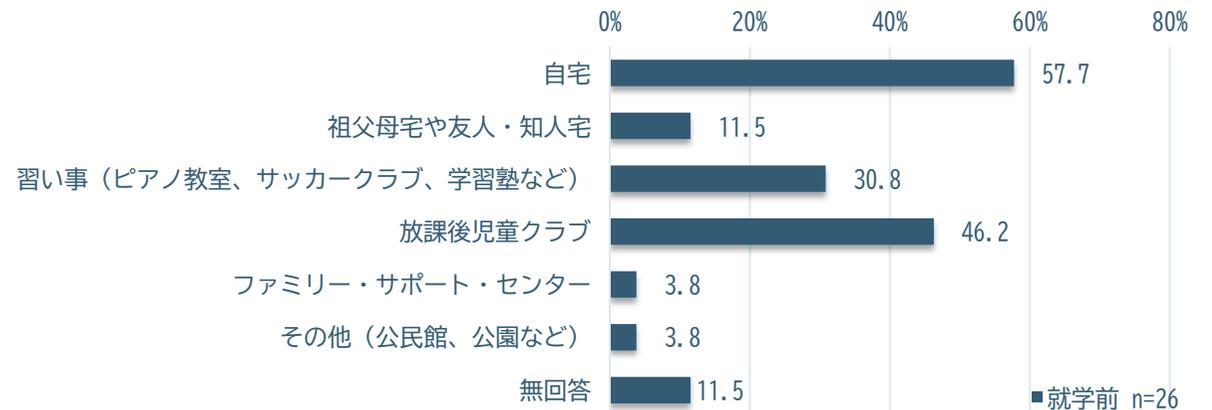


前回調査結果（平成31年2月）：高学年（4～6年生）



就学前のお子さんをもつ保護者を対象：小学生高学年になったとき

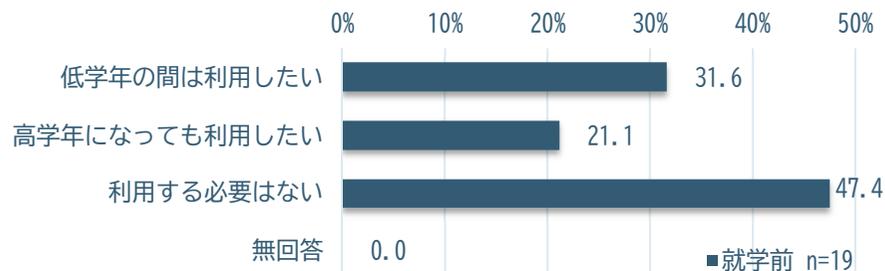
「自宅」が57.7%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が46.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が30.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が11.5%、「ファミリー・サポート・センター」が3.8%となっています。



6) 土曜日・日曜日、祝日・長期休暇中の放課後児童クラブなどの「定期的」な利用希望

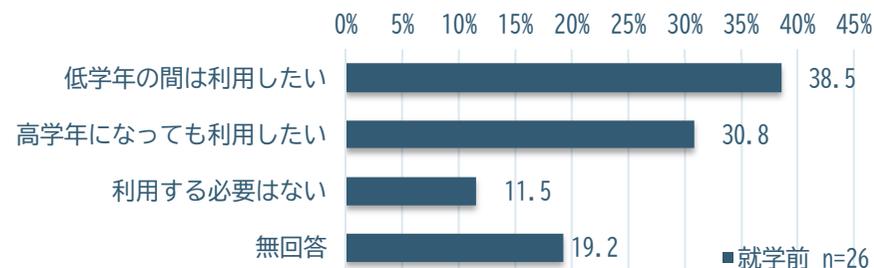
就学前のお子さんをもつ保護者を対象：土曜日

「利用する必要はない」が47.4%で最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が31.6%、「高学年になっても利用したい」が21.1%となっています。



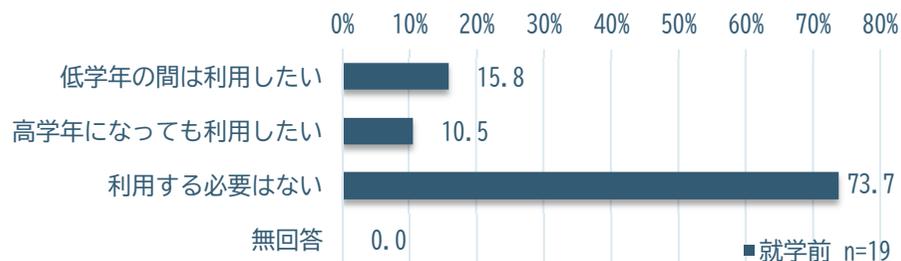
就学前のお子さんをもつ保護者を対象：長期休暇中

「低学年の間は利用したい」が38.5%で最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が30.8%、「利用する必要はない」が11.5%となっています。



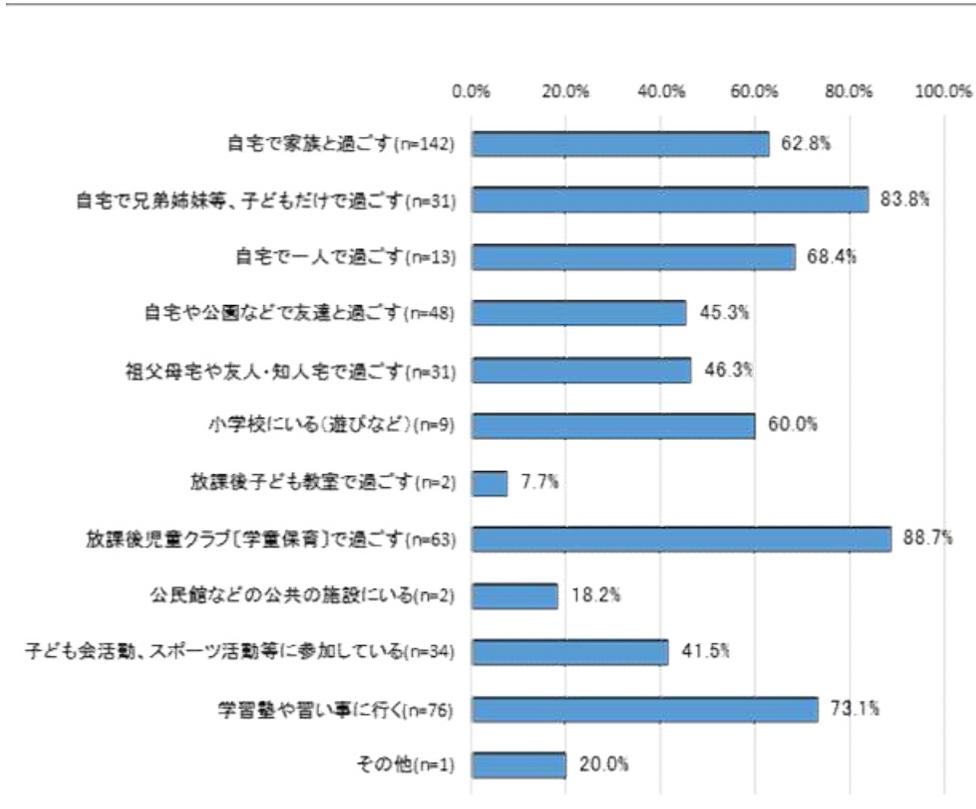
就学前のお子さんをもつ保護者を対象：日曜日・祝日

「利用する必要はない」が73.7%で最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が15.8%、「高学年になっても利用したい」が10.5%となっています。



7) 小学生の放課後の過ごし方について

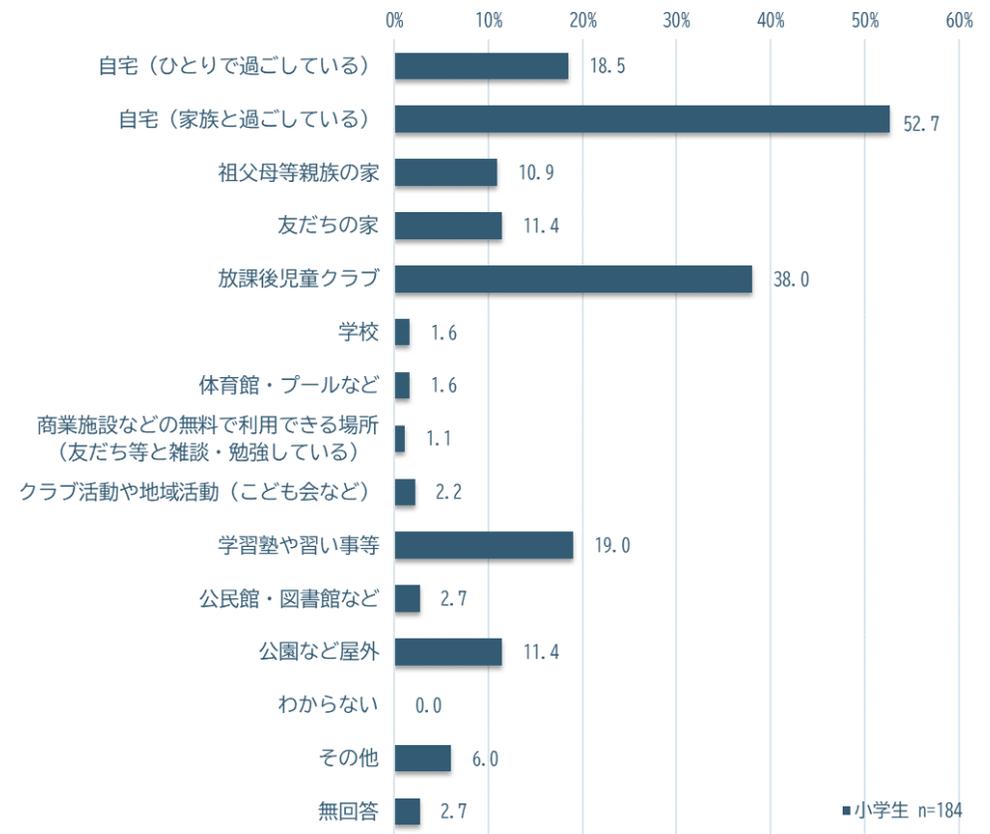
前回調査結果 (平成31年2月)



小学生のお子さんをもつ保護者を対象

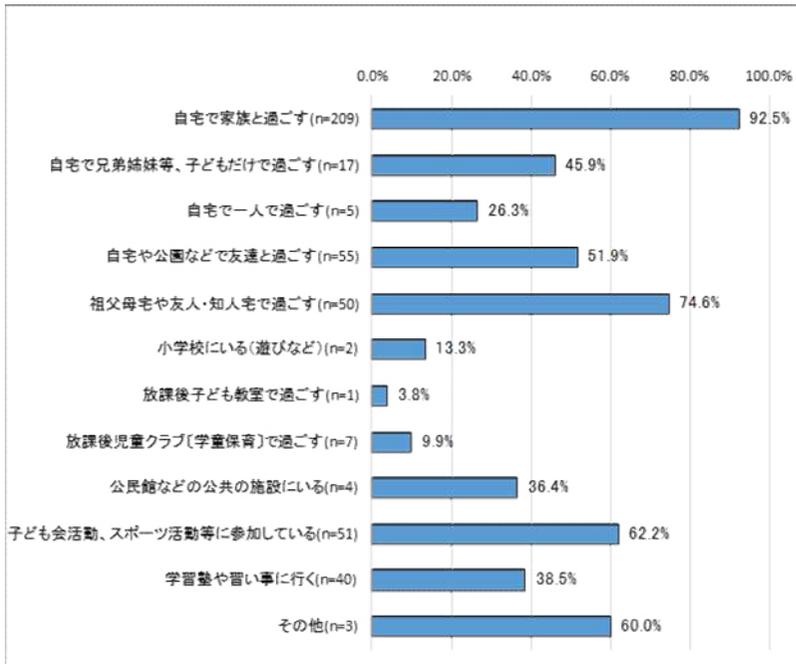
■小学生

「自宅(家族と過ごしている)」が52.7%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が38.0%、「学習塾や習い事等」が19.0%、「自宅(ひとりで過ごしている)」が18.5%、「友だちの家」と「公園など屋外」が11.4%となっています。



8) 小学生の休日の過ごし方 (休日)

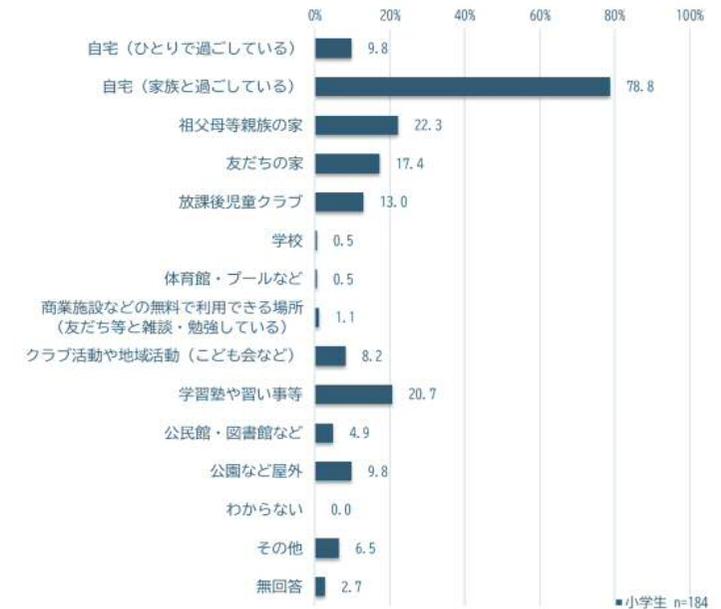
前回調査結果 (平成31年2月)



小学生のお子さんをもつ保護者を対象：土曜日

■小学生：土曜日

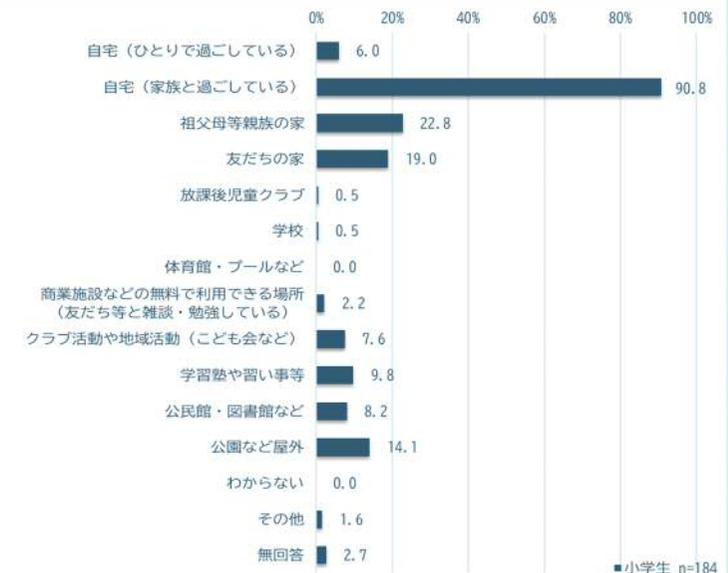
「自宅（家族と過ごしている）」が78.8%で最も多く、次いで「祖父母等親族の家」が22.3%、「学習塾や習い事等」が20.7%、「友だちの家」が17.4%、「放課後児童クラブ」が13.0%となっています。



小学生のお子さんをもつ保護者を対象：日曜日・祝日

■小学生：日曜日・祝日

「自宅（家族と過ごしている）」が90.8%で最も多く、次いで「祖父母等親族の家」が22.8%、「友だちの家」が19.0%、「公園など屋外」が14.1%、「学習塾や習い事等」が9.8%となっています。

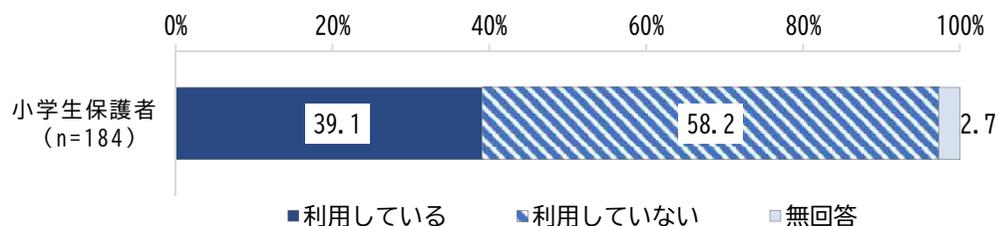


9) 放課後児童クラブを利用状況 (小学生のお子さんを持つ保護者)

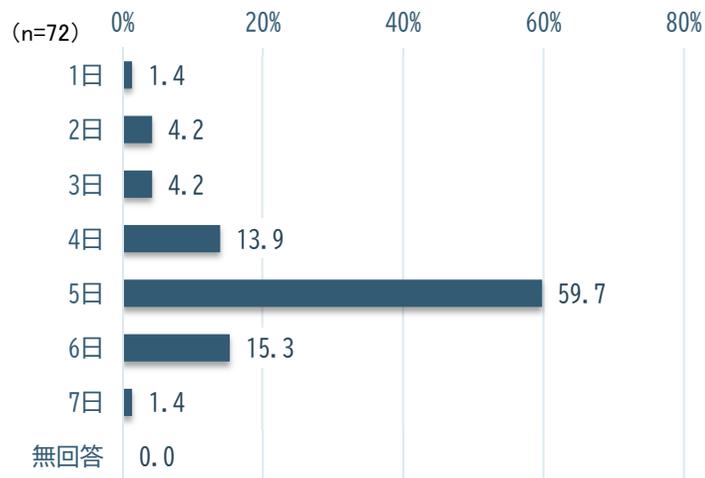
放課後児童クラブの利用状況

「利用していない」が58.2%で最も多く、次いで「利用している」が39.1%となっています。

また、放課後児童クラブの利用日数は「5日」が59.7%で最も多く、次いで「6日」が15.3%、「4日」が13.9%、「2日」と「3日」が4.2%となっています。

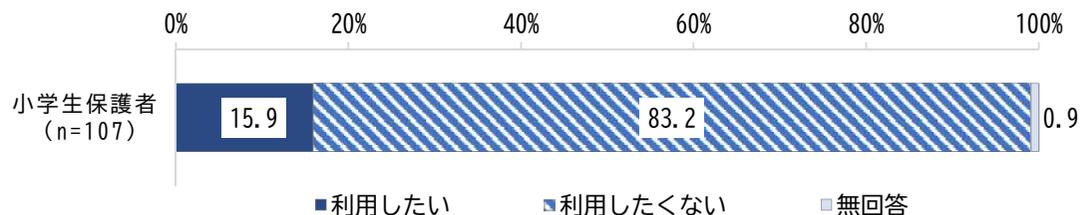


利用日数



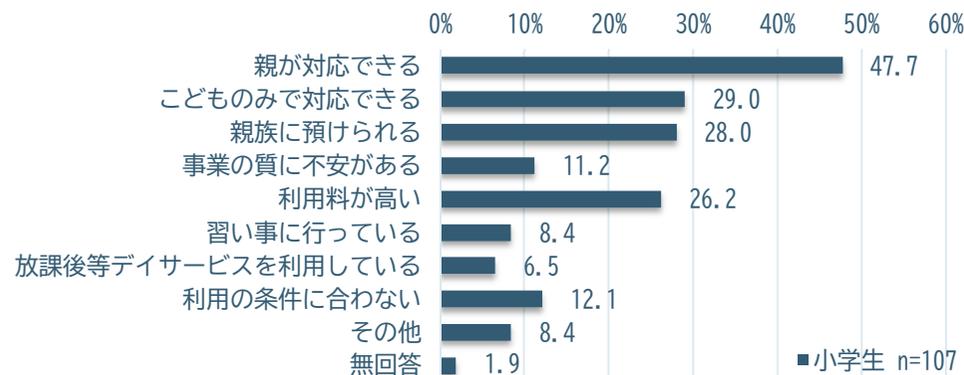
放課後児童クラブを利用していない方の利用希望

「利用したくない」が83.2%で最も多く、次いで「利用したい」が15.9%となっています。



⇒放課後児童クラブを利用したくない理由

「親が対応できる」が47.7%で最も多く、次いで「こどものみで対応できる」が29.0%、「親族に預けられる」が28.0%、「利用料が高い」が26.2%、「利用の条件に合わない」が12.1%となっています。



10) こども医療費支給制度について

小学生のお子さんを持つ保護者を対象：こども医療費支給制度の満足度について

「満足している」が91.3%で最も多く、次いで「どちらかといえば満足している」が5.4%、「どちらかといえば不満である」が1.6%となっています。



就学前・小学生のお子さんを持つ保護者を対象：1か月のお子さんの病院受診回数

■就学前

就学前の1ヶ月の病院受診回数は、「1回」が40.7%で最も多く、次いで「0回（年に数回程度の場合を含む）」が35.3%、「2回」が15.6%、「3回」が4.8%、「4回以上」が2.4%となっています。

■小学生

小学生の1ヶ月の病院受診回数は、「0回（年に数回程度の場合を含む）」が57.6%で最も多く、次いで「1回」が29.9%、「2回」が7.1%、「4回以上」が3.3%、「3回」が1.6%となっています。

就学前

	0回	1回	2回	3回	4回以上	無回答
全体 (n=167)	35.3	40.7	15.6	4.8	2.4	1.2
0歳 (n=37)	43.2	48.6	5.4	0.0	0.0	2.7
1歳 (n=36)	19.4	36.1	27.8	11.1	5.6	0.0
2歳 (n=17)	23.5	47.1	29.4	0.0	0.0	0.0
3歳 (n=27)	29.6	48.1	11.1	7.4	3.7	0.0
4歳 (n=15)	53.3	20.0	20.0	0.0	6.7	0.0
5歳 (n=14)	50.0	42.9	0.0	7.1	0.0	0.0
6歳 (n=12)	41.7	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0

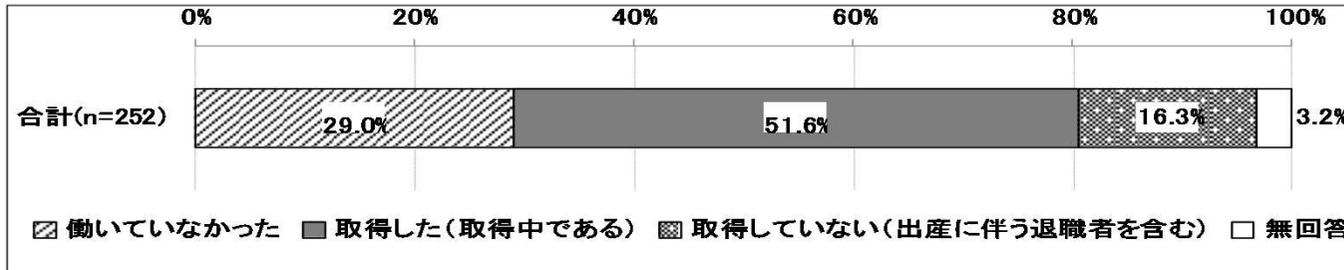
小学生

	0回	1回	2回	3回	4回以上	無回答
全体 (n=184)	57.6	29.9	7.1	1.6	3.3	0.5
1年 (n=41)	48.8	41.5	7.3	0.0	2.4	0.0
2年 (n=23)	56.5	21.7	8.7	8.7	4.3	0.0
3年 (n=32)	62.5	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0
4年 (n=44)	54.5	31.8	4.5	2.3	6.8	0.0
5年 (n=23)	73.9	13.0	8.7	0.0	4.3	0.0
6年 (n=17)	58.8	29.4	11.8	0.0	0.0	0.0

11) 母親の育児休暇取得状況・短時間勤務制度取得状況

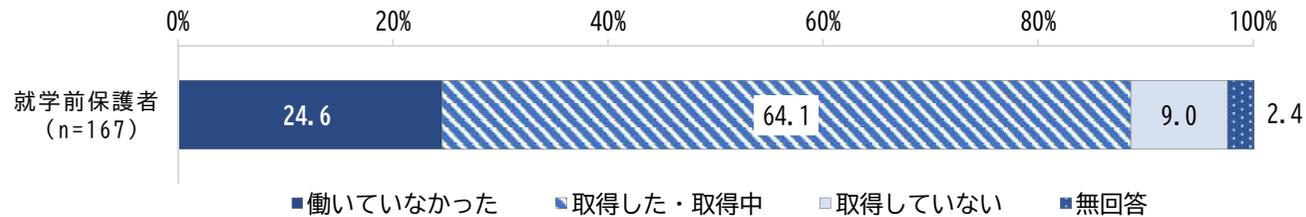
就学前のお子さんを持つ保護者を対象：母親の育児休暇取得について

前回調査結果（平成31年2月）：育児休暇取得



今回調査結果：育児休暇取得

母親の育児休暇取得については、「取得した（取得中である）」が64.1%で最も多く、次いで「働いていなかった」が24.6%、「取得していない」が9.0%となっています。



今回調査結果：短時間勤務制度取得

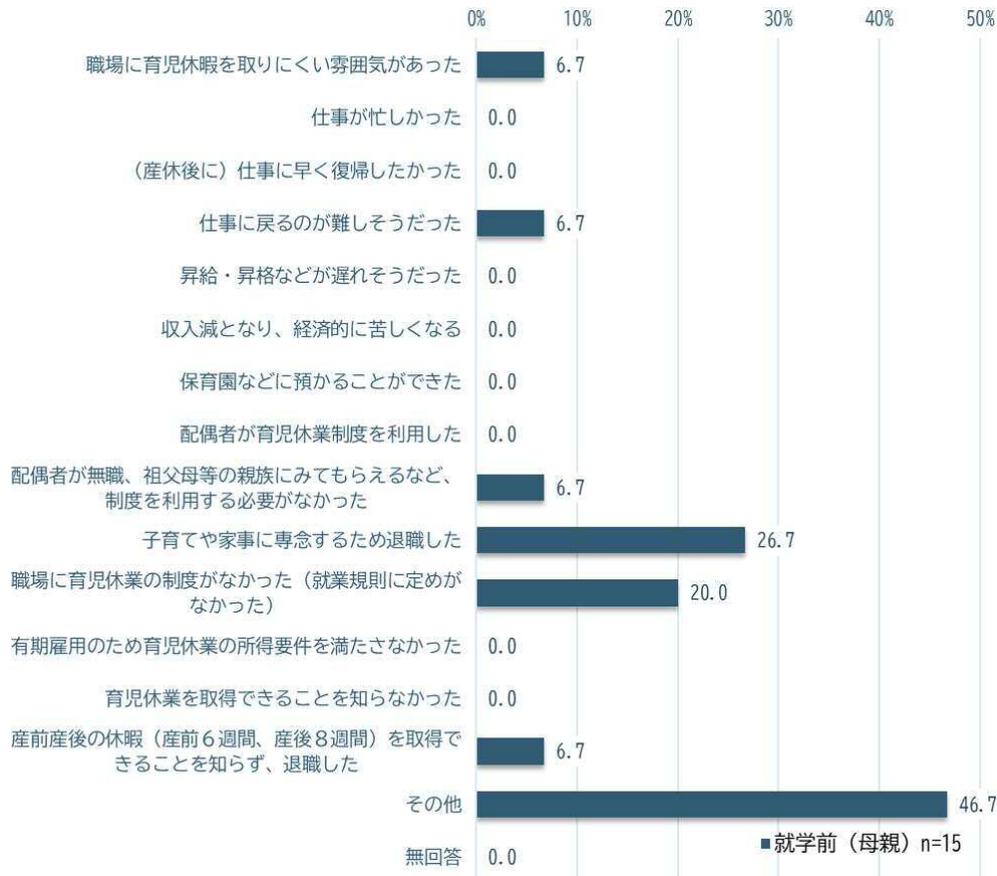
「利用した」が47.7%で最も多く、次いで「利用しなかった（利用できなかった）」が35.4%、「利用する必要がなかった」が13.8%となっています。



11) 母親の育児休暇取得状況・短時間勤務制度取得状況

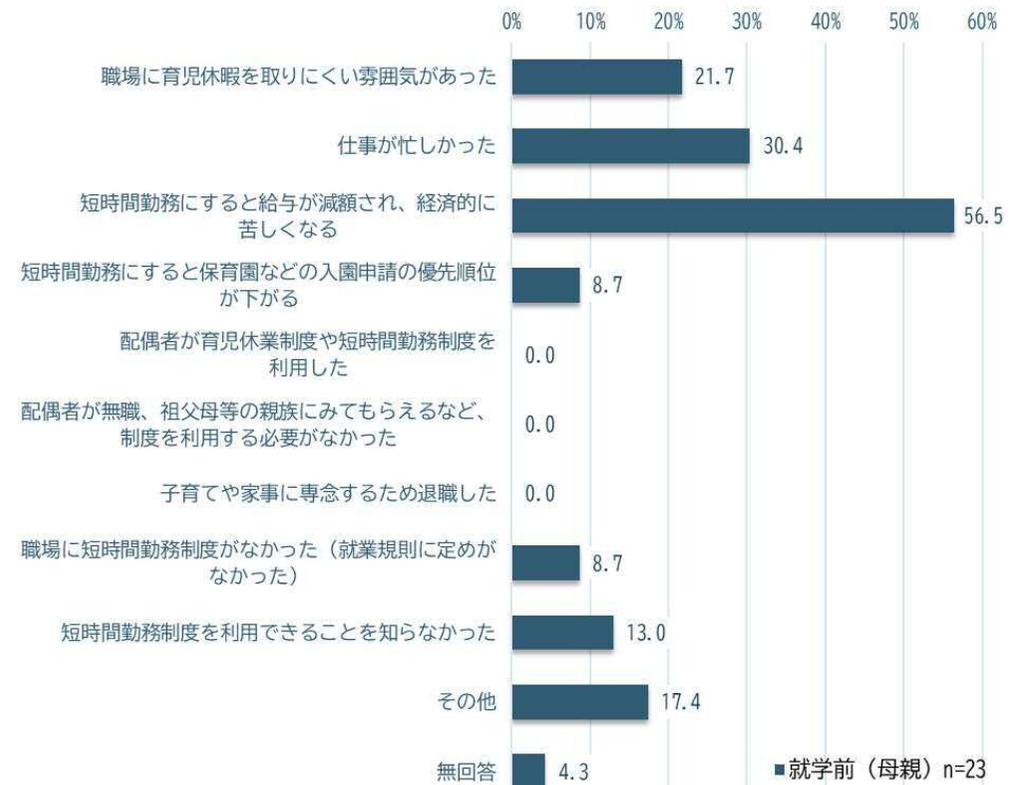
就学前のお子さんを持つ保護者を対象：母親の育児休暇取得していない理由について

「子育てや家事に専念するため退職した」が26.7%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が20.0%、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」が6.7%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が6.7%となっています。



就学前のお子さんを持つ保護者を対象：母親の短時間勤務制度を利用していない理由について

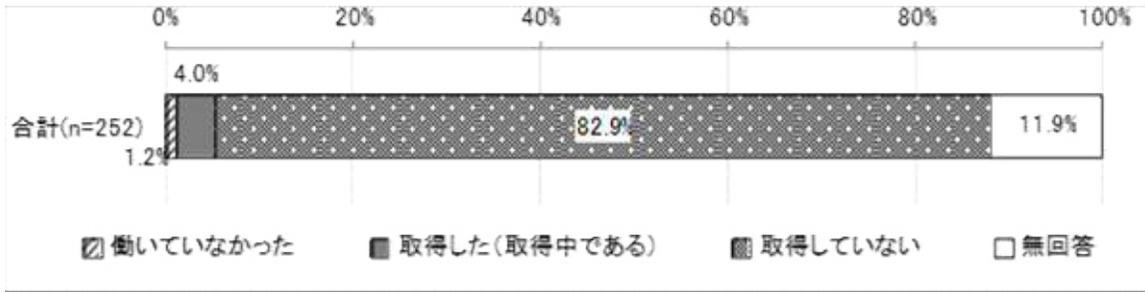
「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が56.5%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が30.4%、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」が21.7%、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が13.0%となっています。



12) 父親の育児休暇取得状況・短時間勤務制度取得状況

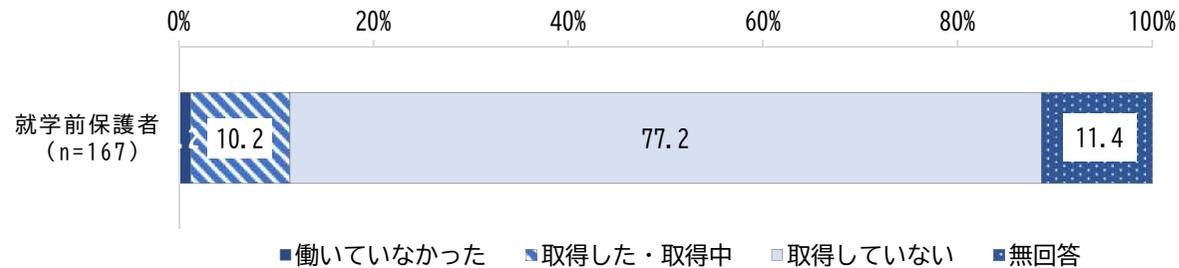
就学前のお子さんを持つ保護者を対象：父親の育児休暇取得について

前回調査結果（平成31年2月）：育児休暇取得



今回調査結果：育児休暇取得

父親の育児休暇取得については、「取得していない」が77.2%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が10.2%、「働いていなかった」が1.2%となっています。



今回調査結果：短時間勤務制度取得

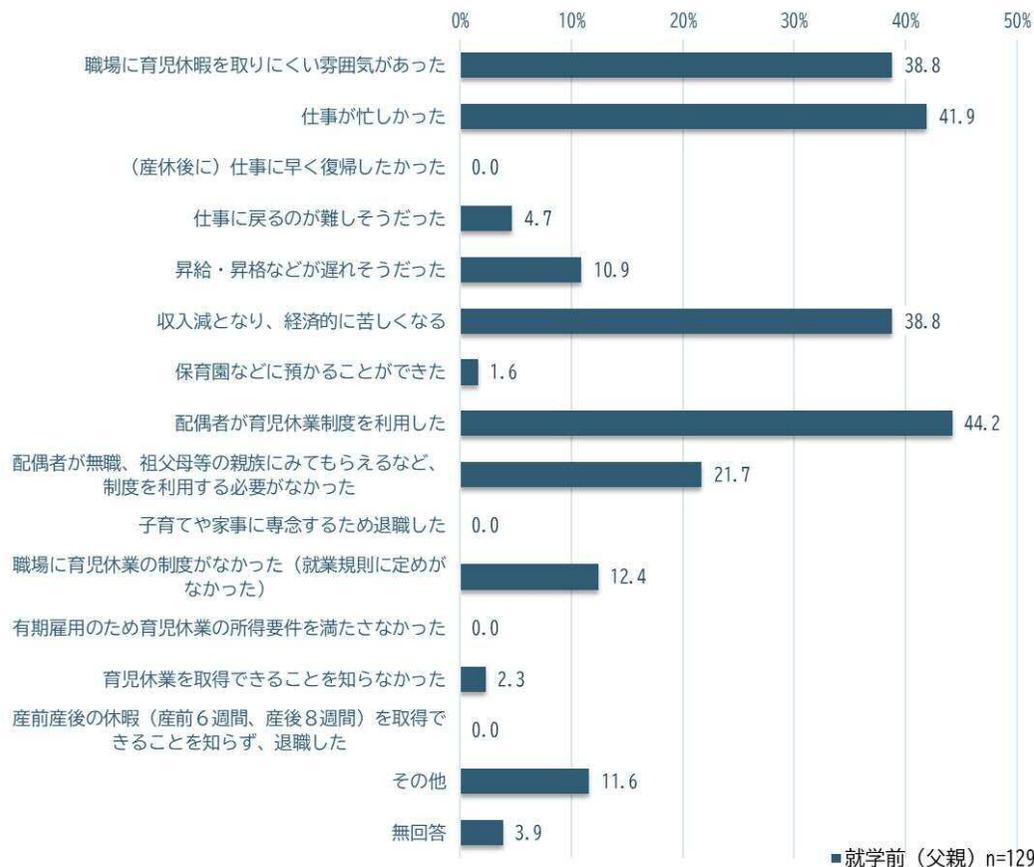
「利用する必要がなかった」と「利用しなかった(利用できなかった)」が42.9%で最も多く、次いで「利用した」が7.1%となっています。



12) 父親の育児休暇取得状況・短時間勤務制度取得状況

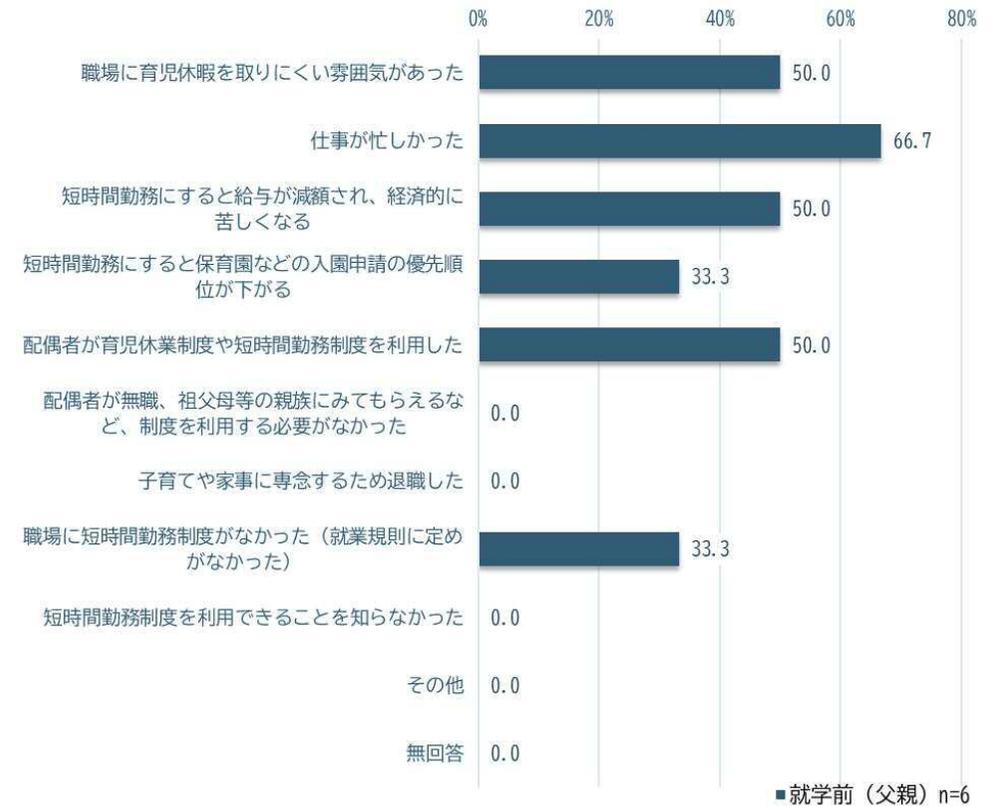
就学前のお子さんを持つ保護者を対象：父親の育児休暇取得していない理由について

「配偶者が育児休業制度を利用した」が44.2%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が41.9%、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」と「収入減となり、経済的に苦しくなる」が38.8%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が21.7%となっています。



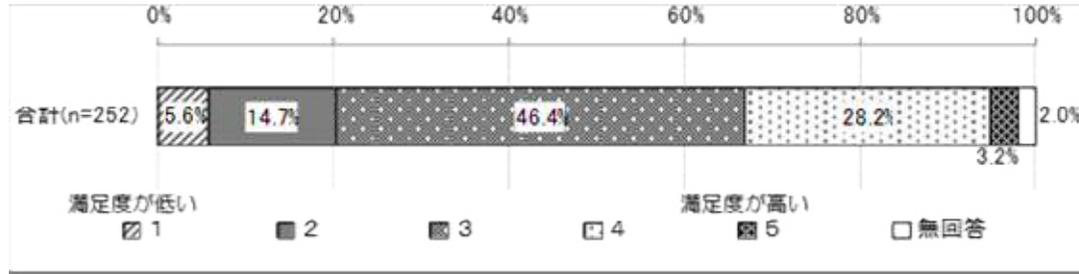
就学前のお子さんを持つ保護者を対象：父親の短時間勤務制度を利用していない理由について

「仕事が忙しかった」が66.7%で最も多く、次いで「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が50.0%、「短時間勤務にすると保育園などの入園申請の優先順位が下がる」、「職場に短時間勤務制度がなかった」が33.3%となっています。



13) 本町における子育ての環境や支援への満足度

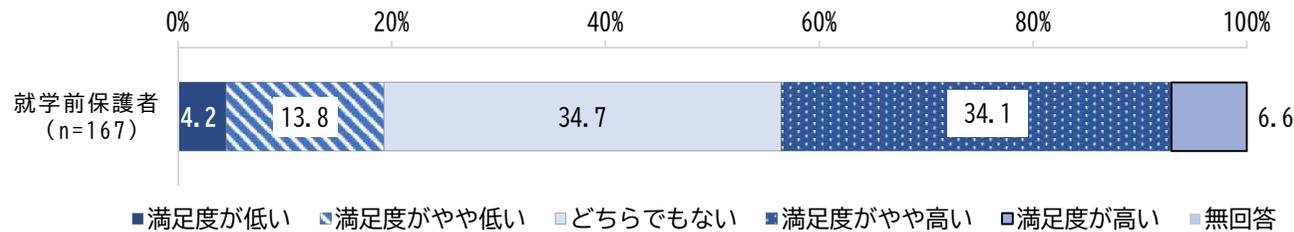
前回調査結果 (平成31年2月)



就学前のお子さんを持つ保護者を対象：鏡野町における子育ての環境や支援の満足度について

■就学前

「どちらでもない」が34.7%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」が34.1%、「満足度がやや低い」が13.8%、「満足度が高い」が6.6%、「満足度が低い」が4.2%となっています。



○年齢別

	満足度が低い	満足度がやや低い	どちらでもない	満足度がやや高い	満足度が高い	無回答
全体 (n=92)	4.2	13.8	34.7	34.1	6.6	6.6
0歳 (n=3)	5.4	16.2	32.4	29.7	13.5	2.7
1歳 (n=17)	8.3	19.4	36.1	25.0	5.6	5.6
2歳 (n=11)	5.9	5.9	23.5	47.1	0.0	17.6
3歳 (n=18)	0.0	11.1	33.3	37.0	11.1	7.4
4歳 (n=14)	6.7	13.3	13.3	53.3	6.7	6.7
5歳 (n=12)	0.0	0.0	64.3	35.7	0.0	0.0
6歳 (n=11)	0.0	16.7	58.3	25.0	0.0	0.0

子どもの生活に関するアンケート調査について

1 調査の目的

本町の実態に即したきめ細かな施策を実施していくために、こどもや保護者に対するニーズ調査だけでなく、こども達に関わってくださる皆様方にもアンケートを実施しました。

2 調査対象と調査方法

調査対象	調査方法
事業所・団体	Web調査

3 調査期間

令和6年4月15日 ～ 令和6年5月15日

4 回収結果

調査対象	配布数	有効回収数	有効回答率
事業所・団体	15	13	86.6%

子どもの生活に関するアンケート調査について

5 意見等の概要

子どもや若者を取り巻く環境の問題点

- 核家族、共働き世帯の増加
- 家庭で大人が子どもと関わる時間が少なくなっている。子どもだけで過ごす時間が増加している。
- ヤングケアラーが増加しているように感じる。
- 保護者に時間と気持ちの余裕がなく、子育てに幸せを感じられない大人が多く見受けられる。
- 親の様子（精神状態）が子どもに影響している。
- 仕事と子育てを両立しようと頑張っている。
- 保護者自身が、子どものいない時間を必要とされているように思う。
- 早期に社会復帰をする母親が増え、3歳未満で保育園等を利用する子どもが増加している。
- 出産に対して前向きにとらえられない現状がある。
- 家庭の役割が不完全になっている。
- 冷凍食品、インスタント食品等の摂取により偏った栄養状態となり、精神面にも影響を及ぼすことが懸念される。

子ども自身に関すること

- 不登校、いじめ
- 学習習熟度に差がある。
- 子どもが発揮した「非認知能力」を、大人が認識不足により消しているように感じる。
- 「できない」とすぐあきらめたり、「無理だ」と投げ出す、自己肯定感の低い子どもが見受けられる。
- 発達障害のある子どもや、診断はないが要支援児童と呼ばれる児童の増加。
- 自分の気持ちを素直に表現できない子どもが多い。
- ゲームなどのひとり遊びが増え、家族や友だちとのコミュニケーションが不足している。
- 身近に気軽に相談したり頼ったりできる人が少ない。
- 問題を抱えている子どもや若者の大半は、人に相談できない、相談できる環境がない。

子どもの生活に関するアンケート調査について

5 意見等の概要

保護者に関すること

- 貧困家庭、ネグレクト家庭、ひとり親世帯など、家庭支援が必要な割合が高い。
- 保護者は一生懸命だが、子どもへの関わり方、認めるポイントがずれていると感じることがある。
- 子どもとのかかわり方がわからず、困っている家庭も見られる。
- 保護者が地区民と寄添う行動が増えれば、よりよいスクラムが組めると思う。
- 祖父母と同居していても、子どものことに関して頼れない家庭も多くあるように思う。

その他

- 夢や希望・期待を持ちにくい社会になっている。
- 虐待や性犯罪など、子どもが巻き込まれる犯罪が増加している。
- ネットやバーチャルな世界が身近になったことで、子どもや若者が知らず知らずのうちに犯罪に巻き込まれることが増えたように感じる。
- 家庭の貧困、教育の格差があるように感じる。
- 生き方の選択肢がたくさんあり、結婚や子育てがすべてではなくなっている。
- 老いも若きも「お金」がないと豊かではないという恐怖心から、「生きがい」という文言のもと、体が動く限り働いている。
- 子育てを楽しめる余裕が持てない環境は問題だ。

子ども・若者・子育て支援に関して必要な施策・支援

- 子育て支援に熱心な方々に協力してもらえる体制づくり
- 「子どもが主役」の鏡野町の実現
- 情報発信の工夫
- 大人に見守られ、自由にのびのびと過ごせる時間や場所や、失敗したとき、次に活かす方法を考える体験
- 保護者や児童が頼ることができる相談機関や相談員、専門的な施設とそれを支える人の育成（子どもが生まれたときから成人するまで長く見守る制度）
- 本当に大切な3歳までの3年間、親が安心して子育てができる特典と環境、教育費
- 気軽に相談できたり話したりできるコミュニケーションの場
- 表面でわからない部分をいち早く察知し、対策できる部署や機関